

令和4年度 幌延深地層研究に関する関係機関意見交換会の開催結果について

○日 時 令和5年2月10日（金）10：00～10：42

○場 所 オンライン会議（本庁舎塔屋共用会議室）

○出席者 出席者名簿のとおり

1 概要

環境保全対策の実施状況について

幌延深地層研究センターから「幌延深地層に関する関係機関意見交換会資料」に基づき、排水量及び水質調査結果、研究所用地周辺の環境影響調査結果について説明。

2 主な意見交換内容

- ・ 来年度から開始される深度500mまでの掘削工事にし、掘削土が増えることや地質の変化による周辺環境への影響について

（回答）工地上の観点から見ると岩盤の性状については特に差異というものはほぼないものと確認しており、掘削や環境に対する影響はこれまでと差がないと考えている。

掘削土に関しては、わずかながら特定の有害物が含まれていることが従前から確認されており、これまで通り周辺環境に影響を与えないよう、ズリ置き場の管理、水質分析、環境調査を適切に行っていきたいと考えている。

- ・ BODの数値について

（回答）BODについて、実施している水質分析等の結果では、有意な変化は確認されておらず、これまでと同程度の値であり、問題ない数値であった。

- ・ 漁協との協定値及び協定値超過の場合の対応方法について

（回答）漁協へ説明を行うほか、水質調査において協定値を超過した場合の対応について、再検査や排水の停止、関係機関などへの連絡を記載した要領を定め、運用している。

3 その他

- ・ 来年度についても、本意見交換会を続ける旨、事務局より説明。
- ・ 掘削土の搬入に係る土地の形質変更届出については、3000平方メートルを下回る場合には届出不要であることを情報提供

4 配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 幌延深地層研究に関する関係機関意見交換会資料